

立花山に登ってみらんね?

立花山は、標高367.1m。町の南東部に位置しています。山頂までの距離は約1,600m、緩やかな傾斜で比較的登りやすい登山道で、家族そろって気軽に登ることができます。今回は、登山初心者の役場職員2人が挑戦します!

至三日月山

至下原

●八畳岩
千畳岩



至下原

①コミュニティバス『マリンクス』

公共交通機関でお越しの人は町のコミュニティバス『マリンクス』をご利用ください。山らず線『立花小学校前』か『立花口』で下車し、登り口まで徒歩15分ほど!



START▶

●石垣跡

石垣ルート

●一本杉
●石垣跡

白岳-松尾岳ルート

松尾岳337.0m

白岳314.6m

至原
ツバキ
原生林

大雨の影響で土砂崩れが発生しており、『石垣ルート』は通行できません。また、一本杉も倒木しています。大変危険な箇所なので立ち入らないようにお願いします。(令和3年9月1日現在)

②『こみんか みかん』がオープン!!

約120年前に建てられた古民家が新しく新宮町東部地区観光交流拠点施設(愛称『こみんか みかん』)としてオープンします!

展示室やカフェなどがあり地域の歴史や文化、食に触れることができます。

ぜひ、一度お立ち寄りください。

オープンする日時: 10月1日(金) 午前9時

営業時間: 午前9時~午後5時

場所: 立花口1324番地

駐車場: 地図内③の登山者用駐車場をご利用ください。

定休日: 毎週水曜日、年末年始

問い合わせ先: 一般社団法人新宮町

おもてなし協会

☎981-3470

至原上

●川上神社
●クスノキ(町指定天然記念物)

至国道3号



③登山者用駐車場

約30台の無料駐車場。

すぐ近くに登山者用トイレもありますのでご利用ください。

準備を済ませて
さあ出発!



検索

⑦山頂

山頂からは、相島や玄界灘、町内や福岡市内の街並みが見渡せ、登山の疲れも癒されます。



わーい!! やつとついた〜

GOAL ▶

⑥立花山大クス

樹齢300年を超える高さ30m程のクスノキの大木。近くで見ると自然のパワーを感じることができます。



⑤水場

登山途中のオアシススポットです。
山の冷たい湧き水を肌で感じてみ
てください。



つめたくて
きもちいい～

④登山道入口

四阿(あずまや)の中にパンフレットが置いてあります。

さあ、ここから出発
です！



仲良〜ハート

7
立花山
367.1m



もう歩けない…

修験坊の滝ルート

立花山ルート

「なぎ」の大樹

修験坊の滝●

至久山

県道山田
新宮線

立花口集落

① マリンクス
立花口バス停

野的至

登山道入口

こみんか

● 第二

●六所神社●独鈷寺

●カゴノキ(県指定天然記念物)

立花小学校

エ
マリンクス
立花小学校前
バス停

いよいよ
登るぞー!!

産業振興課
井浦▶

地域協働課
藤野▶

立花山 愛 にあふれるひと

立花山の魅力発信に尽力



▲立花山観光協会
会長 堀田正哉さん

▶立花山観光協会はどんな活動をしていますか？

年に数回、登山道や山頂の整備や駐車場の草刈りなどを行っています。また、4月の第2日曜日に、登山者の安全を祈願して『立花山山開き』を開催しています。元旦には初日の出を拝みに、みんなで元旦登山もしています。

▶立花山観光協会の活動をしていてやりがいを感じることはありますか？

作業中に多くの登山者から『ご苦労様！』や『ありがとう！』など労いや感謝の言葉をかけていただくことが非常に嬉しいです。

▶立花山の一番の魅力は？

大クスの大きさには圧倒されます。ぜひ、自然のパワーを感じていただきたいです。また、立花山のふもとの立花口地区の伝統的な建物もぜひ見ていただきたい所です。立花口地区の集落は、今では珍しい『長屋門』という伝統的な建築物が約30棟残っています。立花山城の城下町の名残が多く残っており、風情漂う街並みを楽しんでいただけるのも魅力の一つだと思います。

▶みなさまに一言どうぞ。

ふるさとの立花山は新宮町の財産です。立花山の魅力を発信してたくさんの人に登山を楽しんでもらいたいです。そして、立花口地区に住みたいと思う人が増えればうれしいです。手軽に登山ができ、歴史も感じられる立花山を観光協会としても大切に守っていきたいと思います。

立花山観光協会の活動に参加されたい人は ☎962-1190 (立花山観光協会会長堀田) まで問い合わせください！



▲立花山山開きの様子

立花口地区の活性化に熱い想い



▲TAP
(Tachibana All Powers)
会長 堀田晴夫さん

▶TAPを設立した目的は？

立花山のふもとの地区である立花口地区を盛り上げるために5年前に立ち上げました。地元住民はもちろん、地元消防団員や役場の職員など、活動に興味を持ち賛同してくれた人が活動してくれています。

▶TAPはどんな活動をしていますか？

立花口地区は昔からみかん畑が多くありましたが、後継者不足により荒廃し竹林化してしまうようになりました。その竹を有効活用するために、11月に『竹灯籠まつり』を開催しています。竹を美しく見せることで、この地域の魅力発信をしています。また、チップにした竹を堆肥として活用し、無農薬の米を栽培しています。その米は、新宮町のふるさと納税の返礼品として全国の人に食べていただいています。

▶立花山の一番の魅力は？

山頂から見下ろす景色!!道中の疲れが一気に癒されますよ。また、立花口地区は自然も人も豊かさが自慢の地区です。登山者のみなさまに来ていただくことを大歓迎します!!

▶みなさまに一言どうぞ。

もっと東部地区に足を運んでください。そして、歴史深い立花山に触れていただきたいです。立花口地区に多くの人が集まれば地域の活性化になると思います。立花山の山頂に立って感じることでできる爽快感をぜひ多くの人に感じていただきたいと思います。



▲TAPが作った竹灯籠

消防トピックス

粕屋北部消防本部 ☎ 9 4 4 - 0 1 3 1
http://www.khfd-119.koga.fukuoka.jp/



登山アプリを使って 安全で楽しい山登りを！



みなさんは登山アプリを知っていますか。

登山アプリとは、スマートフォンが電波の届かない所で圏外になっても、GPS 機能を活用して現在地を把握することができるアプリです。家族や友人と共有していれば、離れた場所でも現在地を知ることができます。

近年の登山ブームから、道に迷い、遭難する登山者が年々増加しています。登山者の遭難は、気軽に登ることができる立花山など身近な山でも毎年のように発生しています。

もしもの時、登山アプリを使用していれば、自分の位置情報と登山道を正確に知ることができ、登山を続けることができます。また、ケガをしたり、動けなくなったりするなど救助が必要な場合でも、消防隊に正確な位置情報を伝えることができ、早期の救出が可能となります。

登山時は装備、服装、体調を整えて、登山アプリを活用し、登山をより楽しく安全なものにしましょう！



利用者の多い登山アプリの一例



▲ジオグラフィカ



▲ヤママップ



▲ヤマレコ

立花山の歴史

立花山城

立花山城は、大友貞載が貿易港博多を支配する筑前の拠点として築城しました。その後、250年間にわたる数々の攻防戦の末、1571年に戸次鑑連(立花道雪)が城主となりました。1581年に岩屋城主高橋紹運の子、統虎(立花宗茂)は、道雪亡き後、立花山城主となりました。その後、立花山城は小早川隆景が管轄しましたが、1600年には黒田長政が筑前に移り福岡城を築き、翌年立花山城は廃城となりました。



▲立花山絵図(立花家資料館所蔵、柳川市古文書館収蔵)

梅岳寺

1585年に立花山城城主立花道雪を葬り、現在では道雪、道雪の母、家臣の薦野増時の3人の墓が残されています。



六所神社

立花口の産土神です。立花道雪は六所権現の崇拝が厚く、出陣に際しては戦勝祈願をしたと伝えられています。

